

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	アジュール若草				公表日	2026年 2月 27日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		* 適正(事業所設立登録における) * 年齢(学年) に応じて部屋を分けたり過ごせるようにしている。	限られたスペースではあるが、基準は満たしています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7		安全を考慮した配置数である。	事業所の基本職員配置として、児童指導員は1名多く、その他(強度行動支援者) 加配指導員を1名を常時配置しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		* 玄関/扉/洗面/トイレ等、案内表示や動作絵貼り。 * 防災カーペット、バリアフリー室内、柱・机角等にスポンジ貼付け、幼児にも配慮。	建物の構造的なものもあるため、常に改善の余地があり、随時実施していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	2	ソファや本棚の登り防止に措置を取っているが改善の余地あり。	強行及び多動性のこどもへの対応で、見かけもあるがやはり安全第一で実施しており、少しづつ療育の効果がでてきており良くなってきているが、さらに改善していきたい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	2	* 2階の部屋を使用できるようにしている。 * PCが使える環境である。	指導室は基準を満たしてはいるが限られたスペースであり、個別の部屋としては2階にPCが使用できる部屋や個室があります。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	2	強化すべき点あり。	不都合があった場合、皆で都度ミーティング等を実施しているが、職員の資質的な問題を指導し、さらに均一なサービス品質の向上に努めてまいります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	* 日々改善の努力。 * 業務における全員確認と都度の連絡。	HP等にて公表していますが、今回はさらに利用者さまに結果を配布します。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			全職員同士の意見交換と取りまとめができている為、引き続き継続を行うこと。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7			都度改善しています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	* 各庁からの情報落とし込み等。 * 研修受講や参加研修など。	昨年も本年も出来る限り各職員に順次講習・研修に参加するようしている。
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			HP、入所時の説明、パンフレット等実施しています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7			研修で再アセスメントの重要性を理解し、運用しています。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			改善の余地があるとおもいますが、現状実施しています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1	* 全職員への担当員からの聞き込み(記録)。 * 共有記録からの取込み	情報を共有しているが、支援計画で具体的に反映させることはまだ認識面での改善が必要と考えています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7			確認をしています。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			改善の余地はありますが、現状ではできています。家族支援につきましては相談支援の領域でもあるため、さらなる連携が必要です。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7			実施しています。

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	2	固定にならないようにチームで相談工夫するようにする	前年と比較し工夫していますが、運動能力の関係もあり改善の余地があると考えています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			これでよいということはないですが、常に改善・作成し支援しています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	* 責任者又は社長からの役割分担などの打合せがある。 * 情報共有すべき点がある。	活動では細部にわたり出来ていない面もあり、今後反省し改善としたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		* 些細なことでも伝えている。 * 翌日に至らない点などの話が都度ある。	実施しています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			実施しています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			実施しています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	7			実施しています。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	1	活動時、強制あるいは強い誘導をおこなっているときがある。	こどものケンカの時に相手に危害や与える恐れがある等、また活動時危険な状況の時など、安全と保護の観点から強制的な場合もあり得るが、指導者として子供の最善につながる支援をすることも肝要です。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			参画できるようにしています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1		一応の体制は整えていますが、弱い部分もあり連携の強化を図りたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	1	学校とは共有が少ないが保護者とは行っている。	学校との連絡・情報共有は日常実施しているが情報収集等についてはまだ不足がみであり改善が必要とかがえています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	2	* 事例が少ない * 学校を卒業した利用者がまだいない。	自発管及び管理者としては入所時等に情報については共有しています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	2		現在、該当者はいません。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2		支援センターとは常に情報の共有しています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	1	街づくりセンターに行き行事に参加する。	町内会や学校、社協のこどもイベントには参加・交流できた。今後さらに参加したい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	2		職員の勤務都合もあるが、責任者クラスは出席しています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			十分ではないが理解・認識が出来ていると考えます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	4		見学等は実施していますが家族支援プログラムについては実施しておらず、改善、企画しています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			実施しています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			実施しています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			実施しています。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		希望者は時折事業所に来所し面談を行っている。	十分ではない面もあると思いますが、出来ていると考えます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	5	個人情報もあるので利用しない方もいると思うのでどちらともいえない。	開催についてのお声がけもしている希望者が少ないこともあり、とりあえずご参加できる方を対象に企画・実施をしたいと考えています。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			苦情等については速やかに対応しています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		アルバムに写真を渡したり、LINEで様子を発信している。	適時、発信しています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			保管・取り扱いには十分留意し、職員の研修も適時実施しています。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			特徴のある行動を理解することや、伝えるために見えるかすなど工夫をしている。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3	*招待はしないが、地域の行事に参加している。 *事例が少ない。	見学等は実施できているが、まだ招待するような行事を実施していないので企画したい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			各マニュアルを作成し、それぞれ、2回/年の全員での訓練、職員研修を実施しています。先般災害防止マニュアルの一部を配布しましたが、保護者さまへはさらに周知いたします。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			・BCP対策をたて、訓練は実行しています、装備には費用もかかるため適時充実させたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7			確認をしています。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		アレルギーには専用のおやつBOXを用意し、保護者とも話し食べられる物だけを提供する。	対応しています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1	・契約時での相談と対策、同意。 ・ご家族様側と常に情報共有並びに改善対策。 ・ご家族様との連携。	・各ご家族様との連携が図れているため継続をします。また周知の徹底をはかります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			活動等の前後にKYTを実施し終了後のヒヤリハットについても実施しています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			定期的に職員研修を実施し、防犯カメラ等の設置し対応しています。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7			定期的に職員研修を実施で周知し、めったにないが安全上必要と思われるときなどは事前に保護者へも説明・承諾する。	